



丸橋美優喜さん作

ほきさん
2017年6月
棕本673 存仁寺

「淨土和讚」

成就して
往相・還相
ふたつなり
弥陀の回向

一 法徳の姿勢一

ご門徒さんの三十七回忌法要を勤められました。私が幼少からお世話になつていただけた方で、若いころから郵便配達で棕本中歩いておられたそうです。その事もあって、当時は法要後のお供物など一人で全部配つていただきましたことを先代住職から聞いていました。往時の庫裡玄関を上がつた居間でのお食事をとつていて残つています。小柄なお方で、背を丸め、いつもにこにこしておられ、美味しそうに熱燗とおさしみを口に運んでおられました。あれから四十年以上経ち、ご法事の依頼にみえた息子さんも、「私の兄妹も年を取つて来れなくなり、家内でお参りさせていただきます」とおっしゃいました。当日のお寺参りには、施主さん夫婦、息子さん夫婦、孫さんの兄妹夫婦、曾孫さんもお参りに来られました。曾孫さんもよちよち歩くようになり前回の初参式に参加お参りされましたので、そのときの自分の写真を見つけて「ここ、ここ」と指を指して教えてくれました。本堂、お墓でお勤めに続いて、お家での『阿弥陀経』、報謝づとめの『正信偈』も全員で、にぎやかにおつとめされました。ふと、一緒におつとめされている四世代の姿に胸が熱くなりました。休憩の折にお聞きしますと、息子さんの奥さんはこちらに嫁ぐ前にご往生されたのでお会いしていなかつたとのこと、施主さんは「私が十三の時母親が亡くなり、この父が兄妹五人を育ててくれたのです」と感慨深くお話くださいました。いつもにこにこ顔で「なんまんだぶ、なんまんだぶ」お念佛申しておられたおじいさん、今もなおご法事をご縁として私を含め、後の世代にお育てをいただいていることを尊く味わうことでした。その人のみ教えに生きた姿勢は、今も生き、継がれていることなのでしょう。

「弥陀の回向成就して 往相・還相ふたつなり」 今月の言葉は、親鸞聖人の『高僧和讃』の中曇鸞大師のお示しについて述べられた一首です。「弥陀の回向成就して 往相・還相ふたつなり」 これら回向によりてこそ 心行ともにえしむなれ」とあり、浄土往生について、それが阿弥陀さまのはたらきである「他力」によつて私たちに恵まれているのだということを、曇鸞大師の『往生論註』などのお言葉を通してお示しくださつてあります。私たちは阿弥陀さまのおはたらきによつて、浄土に往生して仏さまになることができるのです。そして、迷いの世に還つて縁ある方々を救う活動をします。この往相(浄土に往く様子)と還相(浄土から還つてくる様子)とを、ともに阿弥陀さまから恵まれるのです。阿弥陀さまからたまわることを本願力回向といいます。回向とは、回はめぐらす、向はさしむることで、自分のおさめた善行の功德を他にふりむけることをいいますが、浄土真宗では、阿弥陀さまが本願のはたらきとして、南無阿弥陀仏にその功德のすべてをこめて私たち衆生にふりむけてくださつてているのです。それを他力回向、本願力回向というのです。

私たちが死の痛みを感じる、その大きな機会の一つに、大切な方を見送るということがあります。私たちはこれまで、たくさんの方々を見送つてきました。それは一つ一つの傷となつて、私たちの心に刻み込まれています。その痛みを通して、私たちはいのちを見つめることになるといえるでしょう。その人の死とかかわつて生きていかねばなりません。他者の死によつて心に傷をうけ、他者の死の後もそのいのちを思い続けるのです。浄土とは、死を通していのちをみつめ、そこに向かつて歩む生き方を考えることを教えてくれるのです。仏さまとなつた先人の願いに導かれて、阿弥陀さまのはたらきによつて私もお浄土へ参る身であることをしつかりと受けとめさせていただき、歩んでまいりたいと思います。二〇一七年法語カレンダー「心に響く言葉」より

6月の行事

- 1日(木) 6時30分 おあさじ
13時30分 コーラス
- 3日(土) 17時 お寺ヨガ
- 10日(土) 10時 日曜学校
- 11日(日) 10時 初参式・ちびっ子の集い
13時30分 蓮如忌法要
- 16日(金) 6時30分 おあさじ
- 22日(木)～23日(金)
鈴鹿組仏教壮年会念佛奉仕団 本願寺



7月の行事

- 1日(土) 6時30分 おあさじ
- 6日(木) 13時30分 コーラス
- 7日(金) 10時30分
町仏教会夏季法要準備会 西方寺
- 16日(日) 6時30分 おあさじ
- 20日(木) 無量寿会一日研修
湯ラックス
- 22日(土) 17時 お寺ヨガ
- 23日(日) 16時00分 仏教壮年会例会
親睦バーべキュー
- 30日(日) 7時30分 仏教婦人会墓地清掃
- 29日(土)・30日(日) 1時 芸濃町仏教会
夏季法要 北神山 正福寺



津市丸の内 正覚寺様「紫雲会」(聴講費700円)
6月17日(水)『称える念佛・聞く念佛』
奈良・淨教寺 古山款夫師

宗派・教区・鈴鹿組関連

6月の予定



- 7日(水) 鈴鹿組臨時組会 19時30分専念佛
- 18日(日) 第20期鈴鹿組連続研修会 9時専念佛
「聖人の教え」一信心と念佛
・念佛を称えるとなにか良いことが
あるのでしょうか
・一生懸命信じればいいのでしょうか
- 23日(金) 東海教区門徒総代会研修会
「念佛者の生き方」に学ぶ
佐々木学海さん 名古屋別院
- 24日(土) 鈴鹿祖寺族青年会主催研修会
「これからのお寺に求められるものは」
～地方の寺院における問題点と
10年20年後に求められるものについて～
14時～16時 法敬寺本堂 岡崎秀麿研究員
- 25日(日) 東海教区仏教壮年会・寺族研修会
「念佛者の生き方」に聞く
野村康治さん 名古屋別院

5月14日(日)第20期鈴鹿組連研が存仁寺会場にて、20名ご参加くださいました。今回のテーマは、「他力本願」でした。一般には人任せという認識が強いですが、



「他力というは如来の本願力なり」という一切平等のすくいのお話です。それは他のしあわせを思うはたらきである。

5月7日鈴鹿組組会がもたれ、13寺の寺院代表と門徒代表による鈴鹿組前年度事業報告、会計報告
今年度の事業、予算など審議。別院から楠教務所長羽川専従員が教区からの報告をされた。中でも教区賦課金について厳しい協議がもたれ今後も継続審議となる模様である。



5月28日早朝より総代さん世話方さん、仏事の方々によるマキ刈りの出合いをしていただきました。この日は地域の環境美化、組仏教婦人会ビハーラ活動と行事が重なりましたが、皆様



手分けしてご参加くださいりお寺の周囲や大きく伸びたカイヅカイブキやソテツまで
きれいにさっぱりと切っていただきました。住職、若院も一緒に汗を流しました。
さすがにソテツの頂上は、横山浩久さんの出番です。ありがとうございました。